

科目コーディネータ (科目責任者)	齋野 朝幸 教授			問合せ先	細胞生物学分野			
科目コーディネータ所属	解剖学講座 細胞生物学分野			連絡先	内線5871			
講義場所	-							
区分等	区分	講義	回数	前期8回	単位	1	配当年次	1・2
担当教員	齋野 朝幸 教授 (細胞生物学分野) 木村 英二 准教授 (人体発生学分野) 中野 真人 特任講師 (人体発生学分野) 中岡 克己 教授 (統合生理学分野) 木村 真吾 准教授 (統合生理学分野) 鈴木 喜郎 准教授 (統合生理学分野)							
教育成果 (アウトカム)	教育成果						該当するディプロマポリシー	
	医療・生命科学の対象である人体の構造と機能を十分にわきまえることで、還元主義・分析主義に墮することなく高い視野から研究を遂行できると思われる。人体の肉眼的～微視的構造を知り、さらに機能と結びつけて考察することで、医療機器開発など応用研究の基礎となる人体の機能と構造の連関を考察でき、研究者に要求される人体構造学の導入基盤が形成される。 外部環境の変化に対する生体諸臓器の調節機能について学ぶことで、ヒトの生命維持に欠かせない基本的メカニズムを理解できるようになる。						1,2,3,4,5	
達成目標	達成目標				対象講義			
	(1) 人体を構成する個々の器官・組織の構造を学ぶことで、その特徴を概説できる。				(1)			
	(2) 体幹と四肢にある主な骨を学ぶことで、その基本構造を述べるができる。				(2)			
	(3) 筋の基本構造を学び、全身の主な筋の名称と位置を学ぶことで、骨格筋の作用を述べるができる。				(2)			
	(4) 全身の主な血管を学び、心臓の構造と機能を学ぶことで、循環器系の主な働きを述べるができる。				(3)			
	(5) 神経組織の基本的構造と神経系の概略を学ぶことで、神経系の主な働きを述べるができる。				(4)			
	(6) 消化管・付属臓器の構造と機能を学ぶことで、消化器系の主な働きを述べるができる。				(7)			
	(7) 気道・呼吸器の構造と機能を学ぶことで、呼吸器系の主な働きを述べるができる。				(5)			
	(8) 腎・尿路系の構造と機能を学ぶことで、泌尿器系の主な働きを述べるができる。男性生殖器と女性生殖器の構造と機能を学ぶことで、生殖器系の主な働きを述べるができる。				(8)			
(9) 人体の機能学概論をはじめ、血液、循環、消化器、腎・体液、筋肉、末梢神経、感覚器、中枢神経の各機能について学習することで、それぞれの機能的連携について総合的に概説できる。				(2)(3)(4)(5)(6)(7)(8)				
資格取得等	特になし。							
成績評価方法	受講票により総合的に評価する。成績は、ABCD (A:100～80点、B:79～70点、C:69～60点、D:59～0点)の4段階評価とし、ABC (60点以上)を合格とする (60点未満は再提出)。							
特記事項	<p><履修に関する情報></p> <p>履修申請の際には事前相談に応じる。社会人大学院生など、勤務等で講義に出席できない場合は、日程の調整に応じる。</p> <p>各講義に対する事前事後学修は4時間程度を要し、内容は担当教員に確認すること。</p> <p>受講票の記載が不十分な場合は、担当教員がコメントをつけて返却するので、期日までに再提出すること。</p> <p>講義資料、課題提出に関しては、Web Classを活用する。</p> <p>受講後2週間以内に「受講票」を作成し、Web Classにアップロードすること。なお、講義を欠席した場合は、医学部教務課大学院担当まで連絡すること。</p> <p>秋入学生は、e-learningシステムから講義動画を視聴し、別途指定する期限までに「受講票」をWebclassにアップロードすること。</p>							
教科書・参考書	やさしい解剖学 医歯薬出版株式会社、栄養科学イラストレイテッド 解剖生理学 羊土社、 ぜんぶわかる 人体解剖図 成美堂出版							

月日	曜日	時限	内容/到達目標	担当教員	講義場所
5月配信予定	木	5	(1) 細胞と組織の基礎 個体を構成する細胞の特徴や、上皮細胞の構成細胞の種類と働きを学ぶことで、多細胞生物の成り立ちを、器官・組織・細胞を分別して説明できる。	木村英二 (人体発生学分野)	e-learning (動画視聴)
5月9日	木	5	(2) 運動器総論 人体を構成する骨・関節・筋のそれぞれの基本構造と機能について学ぶことで、運動のしくみについて説明できる。骨格筋収縮のしくみについて説明できる。	中野真人 (人体発生学分野)	Zoom
5月配信予定	木	5	(3) 循環器総論 脈管の基本構造と機能を学ぶことで、人体構造を系統的に説明できる。心臓の構造と機能を学ぶことで、体循環、肺循環と胎児循環を説明できる。心臓の刺激伝導系のはたらきを説明できる。	木村英二 (人体発生学分野)	e-learning (動画視聴)
5月配信予定	木	5	(4) 神経系総論 神経組織を構成する細胞の種類を学ぶことで、末梢神経と中枢神経の組織構造の相違が説明できる。中枢神経系の区分とそれぞれの機能について学ぶことで、中枢神経系の主なはたらきを説明できる。	木村眞吾 (統合生理学分野)	e-learning (動画視聴)
5月16日	木	5	(5) 呼吸器総論 気道と肺における微細構造と、その機能を学ぶことで、ガス交換や換気のしくみを説明できる。	齋野朝幸 (細胞生物学分野)	Zoom
5月23日	木	5	(6) 感覚器総論 眼球の基本構造を理解し、網膜の構造と機能を学ぶことで、網膜における感覚変換を説明できる。外耳・中耳・内耳の基本構造を理解し、内耳の構造と機能を学ぶことで、前庭器と蝸牛管における感覚変換を説明できる。	鈴木喜郎 (統合生理学分野)	Zoom
5月30日	木	5	(7) 消化器総論 消化管の構造と機能、消化液の作用と分泌機序、肝臓の構造と機能を学ぶことで、消化と吸収のしくみを説明できる。	中隋克己 (統合生理学分野)	Zoom
6月6日	木	5	(8) 泌尿・生殖器総論 腎臓から尿道にかけての構造と機能を学ぶことで、尿の生成と排泄のしくみを説明できる。男性・女性生殖器の構造と機能や、配偶子形成の過程を学ぶことで、生殖機能のホルモン調節様式と、性周期における卵巣・子宮内膜の変化を説明できる。	齋野朝幸 (細胞生物学分野)	Zoom